

A8763 205系500番代 相模線 新塗装 白色ヘッドライト 4両セット

予価:20,900円(本体価格19,000円)

JAN:801710 カートン入数:12

A8764 205系500番代 相模線 新塗装 線路設備モニタリング装置付(R12編成) 4両セット

予価:23,100円(本体価格21,000円)

JAN:801727 カートン入数:12



商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)				
実車	<p>1991年の相模線電化開業に合わせて製造されたのが205系500番代です。前面形状の変更、スカート設置、ドアの半自動扱いに対応した押しボタンの設置などの変更が0番代から行われました。近年パンタグラフのシングルアーム化、帯色の変更、座席モケットの変更、ヘッドライトの白色LED化などのさまざまな改良が加えられて活躍を続けましたが、後継車E131系500番代の投入により2022年春改正で引退する予定です。</p> <p>JR東日本では、従来専用車両で行っていた線路設備の点検などを営業列車で行うことができる「線路設備モニタリング装置」を開発しました。線路設備モニタリング装置は「軌道変位測定装置」と「軌道材料モニタリング装置」の2種類に大別されます。A8764ではこれらのうち、線路を照らす光が特徴の「軌道材料モニタリング装置」を点灯ギミックを組み込んで再現しています。</p>				
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース通勤型電車シリーズの更なる充実 ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯(LED使用) ・フライホイール付き動力ユニット搭載 ・2022年春改正までに引退が発表された相模線の205系を晩年の姿でタイムリーに製品化 ・シングルアームパンタグラフ装備、車体帯色の青味が強くなった後の姿 ・ボディ側面銀色を2021年8月発売のA1660/1661 205系山手線と同色に変更 <p>【A8764のみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年のJR東日本在来線車両の床下で見られる線路設備モニタリング装置のうち、軌道材料モニタリング装置を新規金型で作成 ・軌道材料モニタリング装置底部は実車に基づいて赤/白の2色で発光 ・クハ204-512のベンチレーターは実車に基づき未塗装ステンレスを模した銀色で再現 				
A8763	<p>←茅ヶ崎 橋本・八王子→</p> <p style="text-align: center;"><</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>クハ205-501</td> <td>モハ205-501</td> <td>モハ204-501</td> <td>クハ204-501</td> </tr> </table> <p>←ライト モーター ライト→</p> <p style="text-align: right;">JR東日本商品化許諾済</p>	クハ205-501	モハ205-501	モハ204-501	クハ204-501
クハ205-501	モハ205-501	モハ204-501	クハ204-501		
A8764	<p>←茅ヶ崎 橋本・八王子→</p> <p style="text-align: center;"><</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>クハ205-512</td> <td>モハ205-512</td> <td>モハ204-512</td> <td>クハ204-512</td> </tr> </table> <p>←ライト モーター モニタリング装置/ライト→</p> <p style="text-align: right;">JR東日本商品化許諾済</p>	クハ205-512	モハ205-512	モハ204-512	クハ204-512
クハ205-512	モハ205-512	モハ204-512	クハ204-512		
オプション	幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー:密連・黒 F0001				
付属品	行先シール				